

# わたしの好きな よこい

No.142



## <風のとりで>

皆さんは、三ヶ山緑地公園内にある展望台「風のとりで」をご存知ですか。私は、散歩がてら度々この場所に立ち寄ります。展望台のらせん階段を上がり最上部へ着くと、そこからは360度のパノラマを楽しむことができます。特に寄居市街地や外秩父の山並そして赤城山などが遠望でき、この素晴らしい景色を眺めているだけで心が和みます。また、公園内には三ヶ山区民が植栽したサクラの他ハナミツキ、ツツジなどが植栽されています。春



八木時子さん  
(三ヶ山)

になると眼下に花が咲き誇り、美しい景色に色を添えてくれます。他にも公園内には、陸上競技用のトラックや芝生張の多目的広場などがあり、ジョギング・ウォーキングなどを手軽に楽しむことができます。まだまだ寒い日が続きますが、暦のうえではもう春です。散歩の足を延ばし、「風のとりで」からの絶景を皆さんも楽しんでみませんか。



## わが町の 達人 No.11 フラワーアレンジメントの達人



大谷和江さん (本村)

フラワーアレンジメントの基本は、花の一番よいところを表に出してあげること。全体のバランスをとること。時にはわざと崩すこと。そして、調和。花が飾られた場所で生き生きとしていることだと思います。

フラワーアレンジメントの講習会を開く時、季節と花を活ける人の年齢層、目的などを打ち合わせし、花

このコーナーは、「寄居生活学の達人」として町に登録をいただいている町民講師の方々を中心に、そのうちくちや技術、体験などを町民の皆さんに紹介するコーナーです。

材を揃えます。花材は切り花ばかりではなく、ドライフラワー、枝物や葉物だけという時もあります。講習会では、一応見本を作りますが、出来上がると同じものは他に一つも無く、見るからに楽しいアレンジのびのびとおおらかなアレンジ、時には淋しそうなアレンジなど、その人の気持ちがとても良く表れます。基本の型をマスターするための教室ではない1、2回の講習会では、「うちの玄関は暗いので、明るい花を」とか「飾る場所が縦に細長いので、背を高くしたい」、「子どもがぜんそくなので生花にしたい」といった具合にそれぞれのご家庭にあったアレンジをするのが一番よいと思います。

小学校の家庭教育学級では、「この時間内で完成させるのではなく、家庭に帰り、お子さんに最後の仕上げをしてもらってください」と言い続けてきました。親子で楽しい作品ができればいいなあと思っています。

若い頃、古流、小原流などを習っていましたが、子育てに追われ、活

け花と離れてしまいました。ある日、子どもたちが遊びながら花を摘んできてくれました。小さな手に握られていたのは、ナズナやハコベ、アカマンマなどの雑草でした。「はい、プレゼント」と渡された時の驚きと喜びが今の“私の素”なのかなと思います。

花には不思議な力があります。色や形、香りの組み合わせで沈んだ心を励ましてくれたり(黄・オレンジなどの暖色系)、落ち着かない気分を鎮めてくれたり(白とグリーンの組み合わせ)、一つアレンジをするたびに花たちにいろいろ教えられています。これからも、楽しいアレンジメントに出会えますように…。

